

平成22年度 定期作況報告

(5月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

根雪初日は10日遅く、根雪終日は1日遅かった。晩霜は平年より10日遅かった。

4月下旬: 平均気温は平年より2.0℃低く、降水量は平年の110%、日照時間は平年の62%であり、低温・多雨・寡照に経過した。

5月上旬: 平均気温は平年より0.5℃高く、降水は平年の83%、日照時間は平年の84%であり、少雨・寡照に経過した。

5月中旬: 平均気温は平年より1.0℃低く、降水量は平年の82%、日照時間は平年の85%であり、低温・少雨・寡照に経過した。

以上、1ヶ月の平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の89%、日照時間は平年の77%であり、低温・寡照であった。

4月下旬～5月中旬気象表

項目	4月下旬			5月上旬			5月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	9.7	12.8	△ 3.1	15.8	15.9	△ 0.1	16.5	17.3	△ 0.8	14.0	15.3	△ 1.3
最低気温(℃)	2.2	3.0	△ 0.8	6.5	5.3	1.2	6.0	7.3	△ 1.3	4.9	5.2	△ 0.3
平均気温(℃)	5.9	7.9	△ 2.0	11.1	10.6	0.5	11.3	12.3	△ 1.0	9.5	10.3	△ 0.8
降水量(mm)	20.5	18.7	1.8	21.5	26.0	△ 4.5	25.5	31.0	△ 5.5	67.5	75.7	△ 8.2
日照時間(hr)	34.8	56.3	△ 21.5	57.7	69.1	△ 11.4	55.4	65.5	△ 10.1	147.9	190.9	△ 43.0

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は過去10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

平均気温は、各日最高・最低気温の平均値を用いた。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

季節調査(年. 月. 日)

年次	初霜 (年. 月. 日)	降雪初日 (年. 月. 日)	根雪初日 (年. 月. 日)	根雪終日 (年. 月. 日)	降雪終日 (年. 月. 日)	耕鋤初日 (年. 月. 日)	晩霜 (年. 月. 日)
本年	H21. 10.16	H21. 11.2	H21. 12.7	H22. 4.7	H22. 4.7	H22. 5.6	H22. 5.15
平年	10.17	11.1	11.27	4.6	4.14	5.3	5.5
比較	△ 1	1	10	1	△ 7	3	10

注) 岩見沢測候所閉鎖にともない、平成18年以降はアメダス岩見沢の観測値から推定した。

平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。降雪終日、晩霜の本年値は5月20日現在の日付。

II 作況

5月20日 やや不良

事由: 播種は平年より1日遅い4月19日に行った。播種後4月下旬は低温に経過し、出芽まで7日を要した。

移植時における苗は、茎数と葉数が「きらら397」、「ほしのゆめ」ともにほぼ平年並であった。また、草丈は「きらら397」では平年より0.9cm短く、「ほしのゆめ」では平年より0.4cm長かった。しかし、乾物重はそれぞれ平年比91%、92%で、苗の充実度がやや劣った。

以上により現在の作況は、やや不良である。

品種名 項目 \ 年次		きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗(参考)		ゆめびりか 中苗(参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	(前4ヶ年)	本年
播種期	(月.日)	4.19	4.18	1	4.19	4.18	1	4.19	4.18	4.19
移植期	(月.日)		5.20			5.21			5.21	
幼穂形成期	(月.日)		7.07			7.06			7.05	
止葉始	(月.日)		7.22			7.21			7.20	
出穂期	(月.日)		8.04			8.04			8.04	
成熟期	(月.日)		9.21			9.19			9.22	
穂揃日数	(日)		5.6			6.1			6.5	
出穂まで日数	(日)		108			108			108	
生育日数	(日)		156			154			157	
移植時地上部乾物重(g/100本)		1.82	2.00	△ 0.18	1.96	2.12	△ 0.16	1.60	2.31	1.62
草丈 (cm)	移植時	8.7	9.6	△ 0.9	10.4	10.0	0.4	8.4	10.2	8.4
	6月20日		23.5			24.8			25.1	
	7月20日		56.7			59.5			63.3	
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.1	△ 0.1	1.1	1.1	0.0	1.0	1.0	1.0
	6月20日		359			359			315	
	7月20日		891			938			842	
主稈葉数 (枚)	移植時	3.3	3.2	0.1	3.2	3.1	0.1	3.1	3.2	3.0
	6月20日		6.9			6.5			6.7	
	7月20日		10.6			10			10.4	
	止葉		11.1			10.3			10.5	
稈長	(cm)		64.2			67.6			69.5	
穂長	(cm)		16.3			15.4			16.7	
穂数	(本/m ²)		752			817			733	
一穂粒数	(粒)		47.0			42.1			54.2	
m ² 当粒数	(百粒)		353			344			397	
稔実歩合	(%)		86.8			88.2			83.0	
登熟歩合	(%)		78.0			78.7			76.3	
籾摺歩合	(%)		75.2			69.2			74.7	
屑米歩合	(%)		10.4			19.7			11.4	
千粒重	(g)		22.4			21.2			21.1	
わら重	(kg/a)		65.8			70.3			79.7	
精籾重	(kg/a)		75.4			72.5			74.3	
精玄米重	(kg/a)		56.7			50.2			55.5	
収量平年対比	(%)		100			100		-	-	-
検査等級			2上	-		2上	-		2上	

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ほしのゆめ」の平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成18年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)平成21年より「ゆめびりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)耕種概要

土 壤 :細粒グライ土

施 肥 :高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a

播 種 量 :中苗紙筒=180cc/箱 栽植密度 :30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 :手植え 反 復 :2

注6)刈り取り面積は一区3.6m²、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

平成21年9月から平成22年5月中旬までの概況は次のとおりである。

平成21年

9月:平均気温は上旬と中旬で低かった。降水量は上旬で多く、中旬と下旬で少なかった。日照時間は上旬と中旬で多かった。

10月:降水量が上旬で多く、下旬で少なかった。日照時間は少なかった。初霜は平年より1日遅い10月23日であった。

11月:平均気温は下旬で高かった。降水量は中旬で多く、上旬と下旬で少なかった。日照時間は少なかった。

12月:平均気温は上旬と下旬で高かった。降水量は下旬で多く、上旬で少なかった。日照時間は中旬で多く、下旬で少なかった。根雪始は平年より13日遅い12月18日であった。

平成22年

1月～3月:平均気温は1月上旬・下旬および2月下旬で高く、2月上旬・中旬および3月下旬で低かった。降水量は1月中旬・下旬、2月中旬および3月上旬で多く、その他の期間は少なかった。日照時間は2月中旬と3月下旬を除いて少なかった。

根雪終(融雪剤無散布)は平年より1日遅い4月3日で、積雪期間は平年より13日短い106日であった。耕鋤始は平年より4日遅い4月19日であった。晩霜は、現在のところ4月19日である。

4月

上旬:平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は平年の105%、日照時間は92%であった。

中旬:平均気温は平年より2.4℃低く、降水量は平年の223%、日照時間は65%であり、低温・多雨・寡照であった。

下旬:平均気温は平年より1.7℃低く、降水量は平年の143%、日照時間は60%であり、低温・多雨・寡照であった。

5月

上旬:平均気温は平年より0.8℃高く、降水量は平年の89%、日照時間は89%であり、少雨・寡照であった。

中旬:平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の75%、日照時間は96%であり、少雨であった。

気象表

道立中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平成21年	上旬	17.2	19.2	△2.0	21.9	24.2	△2.3	13.2	14.8	△1.6	98.5	51.1	47.4	7.0	3.4	3.6	56.1	51.0	5.1	
	9月	15.8	17.2	△1.4	22.1	22.3	△0.2	10.4	12.3	△1.9	8.5	42.4	△33.9	2.0	3.5	△1.5	69.9	50.1	19.8	
	下旬	14.7	14.1	0.6	20.4	19.8	0.6	8.9	8.8	0.1	9.0	32.9	△23.9	4.0	3.3	0.7	59.8	54.8	5.0	
10月	上旬	11.8	12.6	△0.8	17.5	18.1	△0.6	6.5	7.8	△1.3	54.5	30.3	24.2	6.0	3.8	2.2	41.0	46.9	△5.9	
	中旬	10.7	10.3	0.4	16.5	15.8	0.7	5.5	4.9	0.6	17.0	18.2	△1.2	3.0	2.8	0.2	36.8	51.5	△14.7	
	下旬	9.1	8.2	0.9	13.2	13.3	△0.1	4.6	3.3	1.3	8.5	33.7	△25.2	3.0	4.0	△1.0	32.6	46.4	△13.8	
11月	上旬	7.0	6.4	0.6	11.6	11.2	0.4	2.1	1.8	0.3	18.0	27.8	△9.8	3.0	3.6	△0.6	32.9	37.9	△5.0	
	中旬	2.6	2.7	△0.1	6.1	6.8	△0.7	-0.3	-1.0	0.7	52.5	25.9	26.6	4.0	4.9	△0.9	23.3	31.0	△7.7	
	下旬	2.1	0.9	1.2	5.9	4.9	1.0	-1.1	-3.1	2.0	10.5	20.4	△9.9	4.0	3.8	0.2	22.8	30.9	△8.1	
12月	上旬	0.8	-2.5	3.3	4.7	1.3	3.4	-2.9	-7.0	4.1	8.0	17.6	△9.6	1.0	4.5	△3.5	30.3	29.2	1.1	
	中旬	-3.7	-4.4	0.7	1.1	-0.6	1.7	-7.3	-9.1	1.8	15.0	16.2	△1.2	3.0	4.1	△1.1	38.8	28.5	10.3	
	下旬	-4.5	-5.6	1.1	0.2	-1.4	1.6	-9.2	-10.9	1.7	35.5	16.6	18.9	7.0	4.3	2.7	15.5	30.9	△15.4	
平成22年	1月	上旬	-2.9	-6.1	3.2	1.3	-1.4	2.7	-7.8	-12.1	4.3	10.0	18.9	△8.9	2.0	4.0	△2.0	26.9	32.3	△5.4
	中旬	-6.9	-7.5	0.6	-1.5	-2.8	1.3	-12.2	-13.5	1.3	22.5	13.6	8.9	6.0	4.1	1.9	24.9	29.0	△4.1	
	下旬	-3.5	-6.5	3.0	0.7	-1.8	2.5	-7.4	-12.4	5.0	21.0	15.8	5.2	6.0	4.3	1.7	29.7	41.7	△12.0	
2月	上旬	-7.7	-6.5	△1.2	-2.3	-1.2	△1.1	-13.3	-12.8	△0.5	8.0	10.2	△2.2	4.0	3.5	0.5	37.7	46.0	△8.3	
	中旬	-7.2	-5.8	△1.4	-1.5	-1.0	△0.5	-14.1	-11.8	△2.3	18.5	16.2	2.3	7.0	4.8	2.2	32.4	35.7	△3.3	
	下旬	-0.4	-4.9	4.5	4.0	0.2	3.8	-5.9	-11.5	5.6	5.5	15.9	△10.4	4.0	3.8	0.2	33.2	38.8	△5.6	
3月	上旬	-3.2	-3.4	0.2	2.0	1.6	0.4	-9.0	-9.2	0.2	36.0	17.4	18.6	4.0	3.0	1.0	46.7	54.0	△7.3	
	中旬	-0.2	-0.9	0.7	4.2	3.4	0.8	-5.1	-5.9	0.8	12.0	13.7	△1.7	3.0	3.4	△0.4	31.0	44.0	△13.0	
	下旬	-1.0	1.4	△2.4	4.1	5.5	△1.4	-6.6	-3.0	△3.6	15.0	18.6	△3.6	6.0	3.7	2.3	53.6	55.8	△2.2	
4月	上旬	4.5	3.6	0.9	9.1	8.7	0.4	0.3	-1.3	1.6	10.5	10.0	0.5	4.0	2.2	1.8	50.3	55.0	△4.7	
	中旬	4.1	6.5	△2.4	8.6	12.1	△3.5	-0.2	1.5	△1.7	40.5	18.2	22.3	3.0	3.0	0.0	35.3	54.3	△19.0	
	下旬	5.8	7.5	△1.7	10.2	13.1	△2.9	2.2	2.2	0.0	27.5	19.2	8.3	4.0	2.8	1.2	31.0	51.3	△20.3	
5月	上旬	10.8	10.0	0.8	16.2	15.9	0.3	6.0	4.4	1.6	20.0	22.6	△2.6	3.0	3.0	0.0	54.9	61.4	△6.5	
	中旬	11.0	11.5	△0.5	16.5	17.1	△0.6	5.7	6.3	△0.6	27.0	36.2	△9.2	3.0	3.5	△0.5	55.2	57.8	△2.6	
	下旬		13.2			18.6			8.4			22.0			3.0			54.7		

- 注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。
- 注2) 平年値は過去10年間の平均値。ただし、平成11年はアメダス長沼のデータを使用。中央農試で算出。
- 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
- 注4) △は減を示す。

季節表

年次	初霜 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	融雪剤根雪終 (年.月.日)	通常の根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)
本年	H21. 10.23	H21. 12.18	H22. 4.01	H22. 4.03	106	H22. 4.14	H22. 4.19	H22. 4.19
平年	10.22	12.05	3.28	4.02	119	4.18	4.15	4.29
比較	1	13	4	1	△ 13	△ 4	4	△ 10

- 注1) 平年値は中央農試における平成12年～21年の10年間の平均値を用いた(初霜、根雪始は平成11～20年の平均値)。
- 注2) 積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始・終の差と一致しない。

1. 秋まき小麦(平成21年播種)

9月20日作況 平年並

事由：播種期は9月16日で平年値より1～3日遅いが、安定した越冬のために必要な生育の確保には問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

10月20日作況 やや不良

事由：出芽期は9月22日で、播種期と同じく平年値より1～3日遅いが、順調な出芽状況であった。しかし、10月2半旬以降低温傾向となり、10月20日現在で草丈及び茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

5月20日作況 やや不良

事由：播種期、出芽期は平年より1～3日遅く、越冬前の茎数は平年より少なかったものの1400本/m²程度確保でき、越冬態勢としては十分であった。根雪終は平年より4日遅い4月1日（融雪剤散布）で、雪腐病による冬損程度はほぼ平年並で、越冬後の茎数は平年よりやや多かった。4月中～下旬は低温、多雨であったものの、5月上旬は好天に推移した。5月20日現在で草丈は平年並かやや低く、茎数は分けつの無効化が進み、平年より70～220本/m²程度少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目	品種名 年次	ホクシン			ホロシリコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H21.月.日)	9.16	9.15	1	9.16	9.13	3
出芽期	(H21.月.日)	9.22	9.21	1	9.22	9.19	3
出穂期	(H22.月.日)		6.07			6.11	
成熟期	(H22.月.日)		7.19			7.25	
冬損程度	(0:無～5:甚)	1.9	1.9	△ 0.0	1.1	1.3	△ 0.2
草丈 (cm)	H21.10.20	20.6	24.0	△ 3.4	20.4	26.2	△ 5.8
	H22.5.20	47.2	50.5	△ 3.3	51.2	52.0	△ 0.8
	H22.6.20		98.8			106.2	
茎数 (本/m ²)	H21.10.20	692	987	△ 295	665	1050	△ 385
	越冬前(11月)	1402	1586	△ 184	1349	1540	△ 191
	越冬後(4月)	1810	1600	210	1718	1688	30
	H22.5.20	1033	1255	△ 222	1285	1359	△ 74
	H22.6.20		727			749	
成熟期に おける	稈長 (cm)		93			103	
	穂長 (cm)		8.9			8.7	
	穂数 (本/m ²)		700			664	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		1.6			3.1	
子実重	(kg/10a)		616			593	
リットル重	(g)		804			789	
千粒重	(g)		37.6			42.6	
品質	(等級)		2等			2等	
子実重平年対比	(%)		100			100	

注1) 平年値は前7か年中、最凶(ホクシンH21、ホロシリH21)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH20)を除く5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。(※以降の作物においても同様)

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

2. 春まき小麦

5月20日作況 不良

事由：根雪終は平年より4日遅い4月1日（融雪剤使用圃場）であった。降雨の影響のため、播種期は平年より4日遅い4月19日であった。播種後の平均気温が低く推移したため、出芽期は平年より7～8日遅く、その後の平均気温も平年並から低く推移し、生育は緩慢となった。両品種の草丈および莖数は平年を大きく下回り、「ハルユタカ」では分けつが発生していない。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		ハルユタカ			春よ恋		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.19	4.15	4	4.19	4.15	4
出芽期	(月.日)	5.06	4.28	8	5.05	4.28	7
出穂期	(月.日)		6.21			6.20	
成熟期	(月.日)		8.02			8.01	
草丈 (cm)	5月20日	15.4	21.4	△ 6.0	17.2	21.5	△ 4.3
	6月20日		79			82	
莖数 (本/m ²)	5月20日	287	571	△ 284	372	635	△ 263
	6月20日		738			747	
7月20日 または 成熟期 の	稈長 (cm)		88			97	
	穂長 (cm)		8.5			8.5	
	穂数 (本/m ²)		473			512	
子実重	(kg/10a)		487			551	
一穂粒数	(粒)		31.5			34.7	
千粒重	(g)		40.6			42.3	
リットル重	(g)		811			823	
品質	(等級)		2			2	
子実重平年対比 (%)			100			100	

注) 平年値は前7カ年中、最豊(平成19年)、最凶(平成21年)を除く5カ年平均。

一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。リットル重は1リットル升による測定。

3. ばれいしょ

5月20日作況 平年並

事由：本年は根雪終が平年より1日遅い4月3日（融雪剤無散布）で、その後4月中～下旬は低温、多雨であった。植付期は平年より5日早い4月27日であったが、5月20日現在で萌芽期に至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.27	5.02	△ 5
萌芽期	(月.日)		5.26	
開花始	(月.日)		6.23	
枯凋期	(月.日)		8.21	
茎長	6月20日		34	
(cm)	7月20日		43	
茎数	6月20日		4.8	
(本/株)	7月20日		4.7	
8月20日における				
上いも数	(個/株)		13.0	
上いも平均一個重(g)			81	
上いも重	(kg/10a)		4661	
でん粉価	(%)		14.9	
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		13.1	
上いも平均一個重(g)			81	
上いも重	(kg/10a)		4681	
中以上いも重(kg/10a)			3798	
でん粉価	(%)		15.0	
上いも重平年対比	(%)		100	
中以上いも重	〃 (%)		100	
でん粉価	〃 (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g/個以上、「中以上いも」は61g/個以上。

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	255	—
春まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	340	—
大豆	16.8	3	ひまわり	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	えん麦	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	ひまわり	75	30	1	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	1,000
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	1,000
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	5.0	1,000

中央農試作況報告について

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。